

[第 3 回富良野市地域福祉計画策定市民委員会 議事録]

○山黒福祉支援課長の進行で開会

○鎌田保健福祉部長あいさつ

地方の人口がどんどん減っていることで、まち、人、仕事の創生法が昨年 12 月に制定され、地方においては人口減少対策、地域をどう活性化していくか議論が進められているところです。

本市におきましても、まち、人、仕事創生人口ビジョンということで、12 月に広報に基本的な考え方を示させていただき、市民の皆さんからご意見を頂いている状況。

こちらの創生の部分は、どちらかという若い人たちをどう育て、まちに残していくか、或いは来ていただくかが中心の議論になっていますが、その時にはこのまちで生活ができることに誇りを持てるような地域社会にしていくことが、一番肝要なところだと思っている。今回の地域福祉計画は、その基本となるところと考えています。

今回は第 4 回目ということで、前回素案を示させて頂き、修正したものを下させて頂いています。富良野市の地域福祉という視点で何が必要かを含めて議論して頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

○議事進行 濱本会長が議長となり議事進行

○議事

協議事項 富良野市地域福祉計画策定について

①福祉計画（素案）について（西尾係長）

修正した箇所等について説明

質疑 1

素案の第 5 章の施策の展開 (P.41) で、人材の育成とあるが、前回の計画にも同じようなことが載っていると思うが、もう少し具体的ににならないか。

ボランティアと大枠で考えるのではなく、もっと具体的に育てることができないかを考えている。

厚労省が平成 21 年に出した生活介護支援サポート養成事業があるが、富良野市において何か行動を起こしているのか。

全国の自治体では随分活用しサポーターを育成している。道内でも士別市、鷹栖町、苫小牧市などが行っており、年間 20～30 人を養成している。

ぜひ福祉計画の中に概ね年間 100 名のサポーターを養成するとか、もう少し具体的な計画を組み込めないかと思っている。是非数値目標を入れ込んでほしい。

質疑2

素案の修正版について、文言整理しただけではないか。

富良野市の総合計画があって、この地域福祉計画があって、地域福祉実践計画があり、関連していかなければだめ。

この修正版は、何処が担ってどこが進めるのか、具体的な話しが全く出ていない。

言葉も相互に連携していく、推進を図る、誰が図るのかという話しになる。

そのところを全然議論しないで計画を作っても、所管でないからやらないと言えばそれまでの話し。非常に計画が具体性に欠けている。これは絵に描いた餅になってしまうと感じる。

実践計画と連携するとあるが、実践とは実際に行うこと。どういう形で福祉計画をリンクさせていくのか。リンクしているようには思えない。具体的な計画を作る予定がないのであれば仕方がないが、仕方がないでは済まない。

5年間の計画を作った。そのあとはどう検証するのか。検証項目が全く入っていない。検証がなかったら全然だめ。

回答1及び2

各委員から具体的にという話しがあったが、実際にこの計画の中では特に掲載されていないことが多くあって、概略的なことが多いが、市としての考え方として、一つにはボランティアの関係があったが、今後、介護保険の絡みになってくるが、大きく関わってくる部分は、総合事業の部分であり、地域の皆さんと地域の繋がりを連携しながら、地域包括ケアという部分でかなり重要になってくると考えている。市としても介護保険の総合事業に移行する形がとられてくるので、具体的な形としては、実践計画の中でという考え方は持っているが、残念ながら計画の中に具体的に盛り込めない。前回の中でも話したが、個別計画が先行している部分もあり、その部分については個別計画が優先することになると答弁している。

この委員会の中で、具体的な話しということでご意見がある訳なので、もし追加するもので具体的な項目も載せた方がよいというものがあり、協議してもらえるのであれば、構わないと思っている。

事務局の整理としては、前回の委員会の議事録の中の精査を含め、今回このような形で提案させていただいたということでご理解いただきたい。

質疑3

計画の中では具体的な数値は盛り込まないほうがいいという考え方か。

回答3

そういうことではないが、地域福祉計画という柱になるものの考え方である。

質疑4

他の委員の言っていることに同調する部分は多分にあるが、私の基本的な考え方は、富良野市の大枠的なものを考えている。

細かなことまでは触れないだろうという風に思っている。

素案の最後の方に計画の検証という項目がある。1期については、こういう検証はしているのか。

回答4

計画の中の、P.45に計画の進行管理という項目で書いてある。

当然計画を立てた後の管理については、総合的、円滑に推進していくためにはと書いているが、この実施状況等について管理していくということで整理しており、作りっぱなしということではない。今後の計画においても検証しながら推進したいということである。

質疑5

進行管理というのは毎年するのか、半年に一回なのか。

この計画では5年に一回しかしないのか。少なくとも進行と使うのであれば、毎年になるのではないか。

回答5

具体的には書いていないが、これは計画であり基本的には1年毎と考える。

ただ、第3期となると5年後となり、積み上げの中でどう変わってきたのかということによって管理していくことになる。

質疑6

そういう気持ちがあるのであればきちっと文言に入れるべきと考える。

そうでなければ、やらなくてもよくなる。進行管理して検証した結果について公表すべき。

回答6

計画の内容の作り方だと考えるので、ご論議いただき修正することは可能と考える。ご論議いただきたい。

質疑7

この計画を全般的に見て、推進を図るとか、いろいろ抽象的な表現の羅列が多い。もう少し具体的に計画を作ってほしいと思う。書いていることはわかるが、方法をどのようにしていくという具体的なことがないと地域によって温度差が出てくるのではないか。いずれにしても、あまりに全体的にお題目ばかりで箇条書き過ぎると考える。

回答7

具体的にということだが、地域福祉計画という部分でいけば、前段説明したような、基本となる部分というのが根幹にあるので、具体的にいま言われたような行動の一つ一つについて載せていくという考え方は持っていない。

これは実践の段階で多少幅広くできるとも考えるので、あまり細かく詰めてしまうことはどうかと考える。

方向性についてきちんと示すべきということは、ご意見の通りと考える。

協議事項における質疑・意見等の集約終了。

議長提案

今回の地域計画の素案について、事務局から説明があった大枠と方向性について、素案として作ったものに対して、この場で了承いただけるか。

委員より異論が出、了承得られず。

事務局

今回の修正案の中で、委員の皆さんから頂いた意見等から、若干基本的なスタンスをもう少し加筆する、修正することをさせて頂き、再度委員会にお諮りしたい。

議長提案

次回委員会を1月15日ぐらいを目途に開催し、承認頂いたものをパブリックコメントにかける。その後、もう一度委員会を開催して最終結論を出して答申ということによろしいか。

委員全員了承

その他

・次回開催について

次回開催については、平成28年1月中旬までを目途に開催したい。

・パブリックコメントの実施について

平成28年2月にパブリックコメントを実施予定。次回委員会で整理、集約を願う。

委員全員了承

閉会